6　石狩の文化財

●国指定文化財

（1）重要文化財

名　　称	所在地	所有者	指定年月日	摘　　要
太刀　銘国俊	札幌市	個人	S8.1.23	日本刀の黄金時代といわれる鎌倉中期の代表的な刀鍛冶国俊の作。加賀前田家に伝えられたもの。
刀　無銘伝来国行	札幌市	個人	S11.9.18	無銘であるが、その作風と優れた技量からみて、鎌倉中期の刀鍛冶来派の始祖である国行の作と伝えられている。
八窓庵（旧舎那院忘筌）	札幌市中央区南 11 条西 4 丁目 中島公園内	札幌市	S11.9.18	江戸初期。小堀遠州の作と伝えられる茶屋。旧国宝。
豊平館	札幌市中央区南 11 条西 4 丁目 中島公園内	札幌市	S39.5.26	明治 13 年（1880 年）竣工したもので、開拓使による洋風建築の遺構である。
北海道庁旧本庁舎	札幌市中央区北 2 条西 5･6 丁目、北 3 条西 5･6 丁目	北海道	S44.3.12	明治 20 年代の日本人の設計による、規模の大きい赤れんがの官庁建築で、北海道開拓の歴史的意義と合わせて貴重である。
北海道大学農学部（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	札幌市北区北 18 条西 7 丁目 北海道大学	国	S44.8.19	明治 42 年から大正元年にかけ移築及び新築したもので、米国式バルーンフレーム構造。模範農場としての明治建築物群。
旧札幌農学校演武場（時計台）	札幌市中央区北 1 条西 2 丁目	札幌市	S45.6.17	明治 11 年札幌農学校の演武場として建築され、札幌の時計台として親しまれている貴重な洋風木造建築である。
北海道大学農学部植物園・博物館	札幌市中央区北 3 条西 8 丁目 北海道大学植物園	国	H 元.5.19	明治 15 年から大正 13 年にかけて建てられたもので、特に博物館本館は開拓使札幌博物場として米国人建築士ベートマンの設計によるものである。
箱館奉行所文書	江別市文京台東町 41 番地1 北海道立文書館	北海道	H16.6.8	2 度目の幕府直轄に伴い、箱館奉行を設置した時期の文書・記録。主として、箱館奉行所及び出先機関であるモンベツ御用所・運上役所の文書など。
旧開拓使工業局庁舎	札幌市厚別区厚別町小野幌 北海道開拓の村	北海道	H25.8.7	明治初期の北海道開拓を支えた工業局工作場の現存唯一の遺構であるとともに、米国建築雛形書を利用しながら寒冷地建築を模索した工業局営繕課の設計業務の実態を示すものとして歴史的価値が高い建造物である。
カラフトナヨロ惣乙名文書 （ヤエンコロアイヌ文書）	札幌市北区北8条西5丁目 北海道大学附属図書館	国立大学法人 北海道大学	R1.7.23	カラフト（現在のサハリン）南部西岸のナヨロにてアイヌの氏族長をつとめた家に伝来した満文2，漢文2、和文9通の古文書。 18～19 世紀のカラフトをめぐる日清両国の影響を考察する上で重要。
旧札幌控訴院庁舎	札幌市中央区大通西 13 丁目	札幌市	R2.12.23	大正 15 年建築、組積造（レンガ及び石）、一部鉄筋コンクリート造、地上2階建札幌軟石の建物として現存で最大級である。 司法省の盛期の設計を伝えるとともに、意匠と構造の両面で建築の近代化が進展した時代を具体に示しており、高い価値を有している。
開拓史文書	江別市文京台東町 41 番地1 北海道立文書館	北海道	H26. 8.21	開拓使札幌本庁・東京出張所・各支庁及びその前身の箱館府等において、作成、収受、編綴された近代行政文書である。後継機関である北海道庁に伝来した一群で7，８３２点を数える。明治政府による北海道の近代化の諸政策を知る上での基本資料であり、同地域における地域社会の形成過程やアイヌに対する諸政策を具体的に伝えて、近代史、北海道史及びアイヌ史研究上に重要である。
土面（北海道千歳市真々地町ママチ遺跡第三一〇号土抗墓出土）	江別市西野幌 685 番地 1 北海道埋蔵文化財センター	国	S63.6.6	昭和 61 年に千歳市ママチ遺跡第 310 号土壙墓から出土した縄文時代晩期終末のものである。
北海道江別太遺跡出土品	江別市緑町西 1 丁目 38 番地 江別市郷土資料館	江別市	H5.6.10	続縄文時代（2～3 世紀）に属する石器、木製品、骨角器や土器類の出土品でこの時代の石器の使用法や木製品を知る上で、また、河川漁ろうを考える上で重要な遺物である。
北海道元江別 1 遺跡土壙墓出土品	江別市緑町西 1 丁目 38 番地 江別市郷土資料館	国	H7.6.15	続縄文時代中頃の土壙墓より、深鉢形土器・壷形土器等の土器 72 個、琥珀玉、碧玉製の玉類 3,669 個、石鏃・石銛・磨製石斧・石ナイフ等の石器類等 308 点、総計 4,000 点以上の副葬品が発見された。
北海道美々8 遺跡出土品	江別市西野幌 685 番地 1 北海道埋蔵文化財センター	北海道	H17.6.9	美沢川の低地から出土した木製品を中心とした資料。主に樽前b火山灰（1667 年）と樽前a火山灰（1739 年）に挟まれた近世前半期の泥炭層から出土し、それに擦文時代の遺物が加わる。メカジキの彫刻のある船の櫂や、幾何学模様で飾られた矢筒や山刀などの狩猟用具、漆器を含む食膳具など多彩である。
動物形土製品（北海道千歳市美々第四遺跡出土）	千歳市	千歳市	S54.6.6	美々4 遺跡から出土したもので、長さ 31.7 ㎝、幅 16.2 ㎝。中空素焼きで、縄文晩期初頭（約 3,000 年前）のもの。特定の動物に比定することが困難な形をしたもので当時の祭祀、呪術的な精神生活を見るうえで貴重な遺品である。
北海道カリンバ遺跡墓坑出土品	恵庭市南島松 157 番地の 2 恵庭市郷土資料館	恵庭市	H18.6.9	縄文時代後期～晩期の墓から発見された赤漆により塗彩された櫛・紐などの副葬品。縄文時代の彩漆技術の高さ、葬法の実態を知る上で貴重である。

（2）重要有形民俗文化財

名　　称	所在地	所有者	指定年月日	摘　　要
アイヌのまるきぶね （河沼用）	札幌市中央区北 3 条西 8 丁目 北海道大学植物園	国	S32.6.3	八雲町在住の故椎久年蔵（シイク・トヨタリケ）氏によって大正末期に制作された。

（3）重要無形民俗文化財

名　　称	所在地	所有者	指定年月日	摘　　要
アイヌ古式舞踊	札幌市白石区本通 20 丁目南 1－56 札幌市生活館	札幌ウポポ保存会	S59.1.21 H6.12.21（保護団体指定）	アイヌの人々に伝承されている芸能で、祭祀の祝宴や様々な行事に際して踊られる。
アイヌ古式舞踊	千歳市蘭越　蘭越生活館	千歳アイヌ文化伝承保存会	H6.12.21 （保護団体の構成団体に指定）	アイヌ文化に古来から伝わる舞踊。

（4）記念物（史跡）

名　称	所　在　地	所有者	指定年月日	摘　　要
開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	札幌市中央区北 2 条西 5 丁目・6 丁目、北 3 条西 5 丁目・6 丁目	北海道	S42.12.15	明治 6 年 10 月に建築された開拓使札幌本庁の本庁舎は南北 30.3m（100 尺）東西 18.8m（60 尺）の木造 2 階建で、屋上に径 9m（30 尺）の 8 角塔を設けたもので、明治 12 年に消失、北海道本庁舎は、その隣接地に明治 21 年 12 月に建てられ、昭和 43 年修復した。
琴似屯田兵村兵屋跡	札幌市西区琴似 2 条 5 丁目	札幌市	S57.5.7	明治 7 年開拓使屯田兵列則の制定と同時に建設された屯田兵村の一画、兵屋跡には兵屋が復元されている。
江別古墳群	江別市元江別 858 番 4 ほか	江別市ほか	H10.9.11	8 世紀後半から 9 世紀中頃に形成された径 3～10m、高さ 0.3～1m 程度の墳墓群で、その出土品は東北地方北部の群集墳との強い関係性を示す。本遺跡は、北海道ではここのみ残る古墳群であり、この種の群集墳の北限を示す唯一の現存する遺跡として貴重であるとともに、北海道地域と律令支配の及んだ地域との交流を考える上で重要な遺跡である。
ウサクマイ遺跡群	千歳市蘭越	千歳市ほか	S54.5.23	千歳川と内別川にはさまれた台地上に所在する縄文時代早期から晩期、続縄文時代、擦文時代に至る各時代に属する集落跡及び墳墓群である。
キウス周提墓群	千歳市中央 410 番 2 ほか	千歳市ほか	S54.10.23	縄文時代後期後葉（約 3,200 年前）のもので、2021 年（令和3年）「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界文化遺産に登録された。 円形の土塁（周堤）により墓域を区画した共同墓地。全部で9基あり、土塁の外形は 19m から最大 83m である。現在でも埋まりきることなく、その姿を見ることができる。
旧島松駅逓所	北広島市島松 1 番地	北広島市	S59.7.25	本道の開拓功労者中山久蔵氏の建てた駅逓の建物があり、明治天皇在所が残されている。寒地稲作発祥の地である。
カリンバ遺跡	恵庭市黄金中央 5 丁目 216 番地 6 ほか	恵庭市	H17.3.2	北海道を代表する縄文時代後期後半から晩期初頭の大規模な墓地であり、豊富な副葬品を持つ土坑墓群や数多くの合葬墓は縄文時代の埋葬習俗、装身文化、漆工文化を知る上で極めて重要である。
荘内藩ハママシケ陣屋跡	石狩市浜益区川下	石狩市ほか	S63.5.17	安政 6 年（1859 年）江戸幕府から蝦夷地警備を命ぜられた庄内藩（鶴岡藩）の陣屋跡であり、日本海近くの浜益川北岸丘陵南斜面に所在し、幕末における国際情勢をうかがう遺跡として歴史的・学術的に高い価値を有している。

（5）記念物（名勝）

名　　称	所在地	所有者	指定年月日	摘　　要
ピㇼカノカ黄金山（ピンネタイオルㇱペ）	石狩市浜益区川下	国	H21.7.23	黄金山は、標高 739.1 メートルの山で、その名称は「樹叢の平原の中にそびえる雄山」を意味する。黄金山を中心とする一帯は、アイヌのユカラに登場する英雄「ポイヤウンペ」の拠点としての伝承をもつ。

（6）記念物（特別天然記念物）

名　　称	所在地	所有者	指定年月日	摘　　要
野幌原始林	北広島市西の里	国	S27.3.29	トドマツの最も多い森林として有名であったが、台風等により地域が縮小した。

（7）記念物（天然記念物）

名　　称	所在地	所有者	指定年月日	摘　　要
円山原始林	札幌市中央区円山	国	T10.3.3	海抜 226m の山で 390 種の植物分布が見られる。
藻岩原始林	札幌市南区藻岩山	国	T10.3.3	414 種の冷温帯の豊富な植物分布がある。海抜 531m。